



MIRAI と MIRAI report

「MIRAI」とは、名張育成園と地域を結ぶコミュニティブログ。
また「MIRAI-report」は、各施設スタッフによるレポートブログ。
それぞれ、肩ひじの張らない内容で、ほんの少しからでも福祉に親しみをもっといただけるよう、色々な
角度から多くの活動を紹介し、みなさんとともに「みんな元気に輝いて生きる」街づくりを目指します!!
(ブログMIRAIは、毎週月・木に更新、MIRAI-reportはほぼ毎日更新です)

「MIRAI-Digest」では、「ブログMIRAI」や「MIRAI-report」から選り抜きの話題をピックアップして、毎月お届けします。

vol.16

2013.3.1発行

発行：名張育成園MIRAIプロジェクト 社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者：市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者：池上祥二(社会福祉法人名張育成会) 編集長：佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任：新井知子(株式会社サンエイ) 題字・イラスト：千秋育子



ブログより

新しい相談サービスの誕生です

1月、名張育成会に「の一まらいふ暖」が誕生しました。

施設で福祉サービスを受ける前に、一人一人に応じた福祉サービスについて相談できる場所です。

初めてでどんなサービスがあるか分からない方、今のサービスでいいのかな?という方も、気軽に訪ねてみてください。

三名の相談支援員がお待ちしております。

「の一まらいふ暖(以下、〈暖〉)」という名前の由来は、ノーマライゼーションに生活のライフ、暖かさを加えたもの。ノーマライゼーションとは、障害のあるなしにかかわらず、共に暮らしていける地域社会作りのことです。訪れやすい場所にして、誰もが生活しやすいサービスを提供したい、という気持ちを込めて名付けられました。

〈暖〉は施設を利用される方の相談を受けて「サービス等利用計画」を作り上げることが基本的な役割です。ご本人、ご家族、相談員の三者で、今必要なサービスについて話し合います。ご本人のニーズやご家族の思いを第一に考え、時には話し合いを通じて、将来の目標を具体的な目標に変えていく作業を行います。障害名だけでは推し量れない、その人「個人」を「人」としてみていくことが、一番の基本であるという気持ちを大切にしています。

名張市は、平成十四年より全国的に先駆け「本人いきいき生活支援計画」を導入しました。名張育成会では、市より相談業務を委託され、できるだけ利用者の意向を尊重したサービスを提供しようと早くから取り組んできましたが、平成二四年度に新たな仕組みが導入されたのを機に、「特定指定相談事業所」として〈暖〉を創設。これによって、今まで個人の能力や裁量に頼り切りであったサービスの不公平が解消され、相談サポートの幅や質、選択肢が広がりました。

一見、介護保険制度に似ていますが、障害福祉サービスは、介護度だけで考えるのではなく、その方の障害特性を含みながら総合的に判断しなければなりません。そのため、「サービス利用等計画」を作成後、サービスに関わる全ての施設の代表が集まり、ニーズが反映されているのか、サービスがご本人の現状と一致しているかど

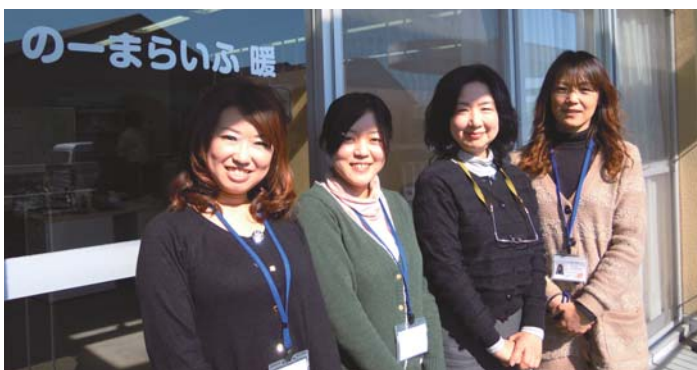


すべてのサービスに精通できるよう常に勉強に励む、相談支援員の川端さん。本当に必要なこと、求めることを見抜こうとする真剣な眼差しが印象的でした。

うかの話し合いがもたれ、相互に確認を行います。

制度が変わり、「指定特定相談事業所」は、これからの福祉サービス利用に不可欠な存在になりましたが、現在、名張に四ヶ所、伊賀に四ヶ所しかありません。名張育

成会は、障害者が少しでも地域で快適に暮らしていけるよう、小さい悩みもすくい上げていきたいと思えます。そして、法人内のサービスだけではなく、地域生活、ボランティアの利用を含めたアドバイスをを行う中で、形ありきものではなく、利用者さんの希望に沿った支援事業を充実させていきたいと考えています。



責任者の市川さんを中心に、まとまりのある相談員のみなさん達。「暖」という名前そのままに、温かさに溢れています。



相談員のみなさんでデザインした名刺。とてもカワイイですね!

の一まらいふ暖

〒518-0615 名張市美旗中村2326
TEL:0595-66-5633
FAX:0595-65-0900
Email:dan@n-ikuseien.jp

こどもライフサポートセンター〈はーと〉

怖いオニがやってくるぞ〜Σ(ー □ ー)!!

2月3日は節分の日。世間では、豆まきと恵方巻きの準備で大忙しですが、〈はーと〉では、オニの顔で作ったストラックアウトの登場☆カラーボールを投げて順番に鬼退治(ー ~ ー)! 「青い鬼!」 「怖いやつ!」 どれを狙うか宣言して競い合いました! 夕食後には怖いオニの登場(∇#) オニに扮した職員が各ユニットに行き、子ども達はそれぞれ持っていた豆で鬼退治。中には、鬼に捕まってしまう… 「助けて〜(T_T)」 必死に逃げようとする子どももいました。 友達の危機に助けに入り、無事、子どもは鬼から解放されました! 今年も悪いオニを退治できたので、福が来てくれると信じています。



〈連絡先〉TEL:0595-65-3787、
Email: jidouryou@n-ikuseien.jp
★MiRAiレポートブログの
「こども支援グループ」をクリック下さい。

児童発達支援センター〈どれみ〉

スライム遊び

〈どれみ〉では、スライムを使って様々な遊びを行っています。 皆さん、スライムってご存知でしょうか? 個体のような液体のような…にゆるにゆる、ねちゃねちゃとした独特の手触りの怪しい、不思議な物体!! スライムは触覚を刺激する代表的な遊びです。触覚には、自分の身体を守るため適切な反応をおこしたり、情緒を安定させたり、自分の身体の内と外の境界線を認識したり、身の回りのものの理解を広げるという役割があります。スライムの硬さは、ぼろぼろ感、ねちねち感、べたべた感など段階的に変化を付けることができます。子どもたちは遊びの中で自分の身体を通して、違いを感じることができます。また、粘土状にしておくと、いろいろな造形遊びやお料理ごっことして展開していくこともできます。 スライムのような触ることや触られることを経験する遊びは、子どもが発達していく上でとても重要な意味をもっていると言えます。



〈連絡先〉TEL/FAX : 0595-65-0875
〈ご利用時間〉10:00~17:00(月~金曜日)
※年末年始、土日祝はお休みいたします。
★MiRAiレポートブログの
「子ども支援グループ」をクリック下さい。

MiRAi report
ブログより
名張育成園の活動、
ひとつづつ!

名張育成園では、赤ちゃんからおじいさん、おばあさんまでが、毎日さまざまな活動をしなが地域の中で暮らしています。 そのような方の暮らしぶりやスタッフの活動などを紹介するブログ「MiRAi-report」から、 選り抜きの話題をピックアップしました。 ほんの少しからでも福祉に親しみを持っていただけるよう、 思いを込めてご紹介します。

<http://www.you-blog.jp/blog/miraireport/>

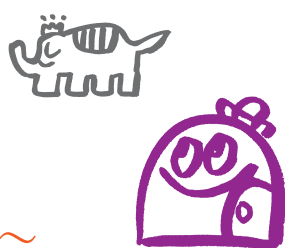


丸之内レインボークラブ

漬物作り〜ぬか漬け編〜

丸之内レインボークラブでは、現在漬物作りに取り組んでいます。 今回は、とれたて名張交流館などにも出荷しているおいしい大根を使って、ぬか漬けに挑戦しました。 まず、大根をきれいに洗って、数日干した後、下漬けをします。10日程つけた後、今度は本漬けに入ります。そして、大根の葉を落とし、半分に分ります。ぬかを煎ったのち…大根、ぬか、みかんの皮、鷹の爪を桶に入れて一か月後…完成!! もうちょっと漬かり足りないかな… もう少し漬けていると、酸味がでてきて良いかな〜と思っています。 今後、さらにおいしくなるよう研究を重ね、早く皆様のお手元に届くよう、これからも頑張っています!

〈連絡先〉TEL 0595-63-7744
<http://www.r-club.jp/>
〈ご利用時間〉9:30~15:30(月~金曜日) 休館日(土・日・祝日・夏期休暇・年末)
★MiRAiレポートブログの「精神保健支援グループ」をクリック下さい。



Thanks

バザーのお礼…ありがとうございました

2月3日に催した「名張育成会ふれあいバザー」。本当に多くの方に支えられ実施することができました。みなさまの温かいご厚意、またご支援に、心より感謝申し上げます。また、準備日、当日と多くのボランティアの方にご協力いただきました。重ねてお礼申し上げます。

さて、多くの方よりお寄せいただいたご厚意の品は、それぞれお値打ち価格に設定されたのち、多くのボランティアの方などのご協力により会場に配置。

当日は400~500人という多くの方にご来場いただき、あっと言う間に会場が賑やかな雰囲気になりました。尚、当日は44万円を超えるご購入をいただき、ご利用者の、生活環境の改善に使用させていただきましたことを、謹んでご報告申し上げます。

- 〈ボランティアの方々〉
- ・民生委員 (名張地区/桔梗が丘地区/くにつつじ地区/比奈知地区/北部地区/箕輪地区)
 - ・名張市ボランティア連絡協議会 (竹とんぼ/どれみの会/ひだまり/あじさいグループ)
 - ・一般ボランティア(7名)

